35011776-02

BUFFALO

HD-WLU3/R1 シリーズ

はじめにお読みください

タブレットでは、「クリック」を「タップ」に読み替えてください。

本製品の紛失・盗難等には十分ご注意ください。

注意

本製品の紛失・盗難・横領・詐取等により、第三者に個人情報が漏えいする恐れがあります。個人情報が第三者に漏えいしたために損害が生じた場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本紙は、本製品のセットアップ手順を説明しています。

パッケージ内容

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品形状はイラストと異なる場合があります。

□ハードディスク.......1 台

<前面>

電源ランプ
点灯（青）：電源 ON 時
点灯（紫）：RAID メンテナンス中

アクセスランプ
本製品に内蔵されたハードディスクの状態を表示します。上がディスク 1、下がディスク 2 の状態を表示します。
点灯（緑）：電源 ON 時
点滅（緑）：アクセス時
点灯（赤）：エラー時
点滅（赤）：リビルド中

<背面>

電源スイッチ（POWER MODE）
AUTO：パソコンに連動して本製品を ON/OFF します。
OFF：本製品を OFF にします。

RAIDモード変更スイッチ
RAID モードの確認や変更を行うことができます。詳しくは、画面で見るマニュアルを参照してください。
※RAID モードを変更すると、本製品に保存されているデータが全て消去されます。

USBコネクター
電源コネクター
ファン
内部温度が高温になると回転します。ファンを塞ぐような設置はしないでください。
セキュリティースロット

□AC アダプター......1 個　□USB ケーブル......1 個

□ユーティリティー CD.......1 枚
□True Image 2013 （CD）.......1 枚
バックアップソフトウェアAcronis True Image 2013をインストールするためのCDです。
☑はじめにお読みください(本紙).......1 枚

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

⚠注意
本製品に物を立てかけないでください。
転倒して故障する恐れがあります。

本製品の上や周りに物を置いたり、積み重ねて使用しないでください。
熱がこもると故障の原因となります。

設定できるRAIDモード

本製品は、2 台のハードディスクを搭載していますが、RAID モードによって 1 台のハードディスクとして使用できます。出荷時状態では、RAID1 モードに設定してあります。セットアップ時に RAID モードを変更できますので、使用するモードに変更してください。
※RAID モードは、セットアップ後も変更できますが、本製品に保存したデータが全て消去されます(フォーマットされます)。詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。

●RAID1 モード(自動的にバックアップを作成し、データを安全に保管する)
2 台のドライブに同じデータを記録するため、1 台のドライブが破損しても交換による復旧が可能です。容量は、1 台分の容量になります(HD-WL2TU3/R1 の場合：1TB)。

耐障害

出荷時設定

●スパニングモード(大容量ハードディスクとして使用する)
2 台のハードディスクを 1 台の大容量ハードディスクとして使う方法です。データを分散せずに保存するため、アクセス速度は通常と変わりません。

大容量

●RAID0 モード(高速な大容量ハードディスクとして使用する)
2 台のハードディスクを 1 台の大容量ハードディスクとして使う方法です。データを分散して 2 台のハードディスクに同時記録するため、アクセス速度が向上します。

高速/
大容量

同時に書き込み

●通常モード(2 台のハードディスクとして使用する)
RAID を構築しないで使用します。本製品は 2 台のハードディスクとして認識され、それぞれに違うデータを保存できます。

個別運用

Step.1 パソコンに接続する

パソコンの電源をOFFにし、USBケーブルでパソコンと本製品を接続します。

3 AC アダプターを本製品に接続します。
① ツメに引っかける。
② 電源コネクターに接続する。

RAIDの設定を変更する場合は、USBケーブルで接続してください。

接続が完了したら、パソコンの電源をONにしてください。

●Windowsをお使いの場合
続いて右のStep.2へ進んでください。

●Mac OSをお使いの場合
以上で設定完了です。

- **電源ランプが点灯しない場合は、USB ケーブル、AC アダプターが正しく接続されているかを確認してください（本製品をパソコンに接続してからランプが点灯するまで、20 秒程度かかることがあります）。**
- **「セットしたディスクに Mac OS X で読み込めないボリュームが含まれています」という内容のメッセージ（日本語と英語、または日本語のみ）が表示されたら、[続ける] または [OK] をクリックしてください。**

Step.2 お使いのパソコンに最適な設定(RAIDの構築など)にする(Windowsのみ)

本製品をお使いのパソコンに最適な設定にします。

1 ユーティリティー CDをセットして、コンピュータ（マイコンピュータ）に表示される CD のアイコンをダブルクリックします。
つづいて「DriveNavi.exe」をダブルクリックします。
※Windows 8 をお使いの場合、CD 挿入時に画面右上に「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」と表示されたら、その部分をクリックし、次の画面で「DriveNavi.exeの実行」をクリックしてください。
※「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックしてください。
※「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

2

[かんたんスタート]をクリックします。

3 手順 4 の画面が表示されるまで進んでください。
※「RAID 管理ドライバを登録しました。(製品名) を再接続してください。」と表示されたら、本製品をパソコンから一旦取り外し、再度接続してください。

4 RAID モードの設定を行います。
※出荷時は、RAID1 モードに設定されています。RAID モードの特長は、左面や画面で見るマニュアルを参照してください。

■RAIDモードを変更する場合
[はい]をクリックします。

■RAIDモードを変更しない場合
[いいえ] をクリックし、以降は画面の手順に従ってください。

5

[設定]→[ディスク構成の変更]の順にクリックします。

右上へつづく

6

①変更する RAID モードを選択します。
※「パスワードを設定する」にチェックを付けると、RAID 構築時のパスワードを設定できます。パスワードを忘れると設定できなくなりますので、お客様で厳重に管理してください。

②[次へ]をクリックします。

7 ※Windows Server 2003 R2/Server 2003をお使いの場合、左の画面は表示されません。

①フォーマット形式を選択します。
②[次へ] をクリックします。

※Windows XP/Server 2003（Service Pack 適用前）をお使いの場合、2TB を超える容量の領域に対応していません。2TB を超える容量の本製品をフォーマットするときは、「NTFS フォーマット - 互換モード」または「FAT32 フォーマット - 互換モード」を選択してください。2TB ごとに領域を分けてフォーマットされます。

※2TB を超える容量の領域をフォーマットするとき、「NTFS フォーマット（推奨）」を選択すると 2TB 以上でも 1 つの領域として確保できます。この場合、Windows XP/Server 2003（Service Pack 適用前）では使用できません。

※FAT32 フォーマットの場合、4GB 以上のファイルを保存できません。

以降は、画面の手順に従ってフォーマットしてください。フォーマットが完了すると、手順 5 の画面に戻りますので、[ファイル]→[終了]をクリックして画面を閉じてください。

※「RAID 管理ドライバを登録しました。(製品名) を再接続してください。」と表示されたら、本製品をパソコンから一旦取り外し、再度接続してください。

以降は、画面の手順に従ってください。

以上で完了です。本製品は、通常のハードディスクと同じようにデータの読み書きを行えます。

※設定が完了したら、コンピュータ（マイコンピュータ）に本製品が追加されていることを確認します。

本製品が追加されたことを確認します。
※RAID1（出荷時設定）に設定された場合、本製品の容量はパッケージに記載の容量の半分になります。

バックアップをお勧めします
万が一、本製品が故障したときに備え、バックアップを作成することをお勧めします。バックアップとは、他のハードディスクなどに本製品のデータをコピーしておくことです。詳しくは、画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」を参照してください。
なお、本製品を RAID1 モードでお使いの場合は、本製品内蔵のハードディスクが 1 台故障してもデータを復旧できますが、2 台同時に故障した場合はデータを復旧できません。そのため、大切なデータは、RAID 1 モードでお使いの場合であっても他のハードディスクなどにバックアップを作成することをお勧めします。
万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意
「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
付属の Acronis True Image 2013 を用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。
詳しくは、http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。
※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。

画面で見るマニュアルについて

画面で見るマニュアルには、付属ソフトウェアの概要やフォーマット手順など、本紙に記載されていないことが記載されています。本紙とあわせて必ずお読みください。画面で見るマニュアルは、以下の手順で表示できます。

■Windows

CDを紛失された場合、以下の方法では画面で見るマニュアルを表示できません。その場合は、以下の当社ホームページに公開されているマニュアルを参照してください。

❶ 本製品付属のCDをセットして、コンピュータ（マイコンピュータ）に表示されるCDのアイコンをダブルクリックします。つづいて「DriveNavi.exe」をダブルクリックします。

- Windows 8をお使いの場合、CD挿入時に画面右上に「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」と表示されたら、その部分をクリックし、次の画面で「DriveNavi.exeの実行」をクリックしてください。
- 「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックしてください。
- 「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

❷

[マニュアルを読む] をクリックします。

❸ 表示したいマニュアルを選択し、[開始] をクリックします。

以上で、画面で見るマニュアルが表示されます。

※画面で見るマニュアル（PDFファイル）を読むには、Adobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerは、DriveNavigatorからインストールできます。

※Adobe Readerの使いかたは、ヘルプを参照してください。

※画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

■Mac

以下の当社ホームページに公開されているマニュアルを参照してください。

画面で見るマニュアルは、以下の当社ホームページに公開しています。

http://buffalo.jp/download/manual/h/hdwlu3r1.html

Acronis True Image 2013（バックアップソフトウェア）について

Acronis True Image 2013はWindowsのみでお使いいただけるソフトウェアです。

Acronis True Image 2013 は、パソコンのシステムを丸ごとバックアップできるバックアップソフトウェアです。

インストールには、付属 CD の袋に貼り付けられているプロダクトインストールキーが必要です。付属 CD「True Image 2013」をパソコンにセットし、表示された画面に従ってインストールしてください。（画面が表示されない場合は、CD 内のファイルをダブルクリックしてください。）

※付属 CD「True Image 2013」から CD ブートで True Image 2013 を起動した場合、本製品の暗号化モードを有効にしていると本製品内のデータは見えません。Windows を起動してから True Image 2013 を起動するか、本製品を通常モードでご使用ください。

※プロダクトインストールキーは大切に保管してください。プロダクトインストールキーがないと True Image 2013 をインストールできません。紛失されても再発行できませんのでご了承ください。

ソフトウェア

⚠注意 Windows Server 2008 R2/Server 2008/Server 2003 R2/Server 2003やMac OSをお使いの場合は、RAID管理/設定ユーティリティーのみの対応です。

付属 CD 内の「DriveNavi.exe」には、便利なソフトウェアが収録されています。ソフトウェアの詳細やインストール手順は、画面で見るマニュアル「付属ソフトウェアの概要」をご覧ください。**CD を紛失された場合は、以下の当社ホームページから各ソフトウェアをダウンロードできます。**（Acronis True Image 2013 を除きます。）

http://buffalo.jp/download/driver/hd/hd-wlu3r1.html

※ RAMDISK ユーティリティをインストールすると「ドライバ ソフトウェア発行元を検証できません」と表示されることがあります。表示されたら［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックしてください。

※ RAMDISK ユーティリティ、Backup Utility をインストールした場合は、パソコンを再起動した後に各ソフトウェアの設定を行ってください。

故障かなと思ったら（ランプ・ブザーの確認）

本製品には、異常が発生した場合にブザーやアクセスランプで状態を表示する機能があります。故障かなと思ったときは、ブザーやアクセスランプの確認をしてください。

アクセスランプの状態	ブザー音	本製品の状態
―	ピー・ピー・ピー（繰り返し鳴る）	背面のファンが停止しています。本製品の電源をOFFにして、ファンにほこりがたまっていないか確認してください。ほこりを取り除いても解決しない場合は、ファンが故障している可能性があります。当社サポートセンターへご連絡ください。
―	ピー――（連続して鳴り続ける）	ハードディスクが非常に高温となっています。背面のファンが回転しているか確認してください。 ファンが回転していない場合は、本製品の電源をOFFにして、ファンにほこりがたまっていないか確認してください。ほこりを取り除いても解決しない場合は、ファンが故障している可能性があります。当社サポートセンターへご連絡ください。 ファンが回転している場合は、ハードディスクが故障している可能性があります。アクセスランプを確認し、ハードディスクの状態を確認してください。なお、どのアクセスランプも赤色点灯していない場合でも、ハードディスクが高温となっています。本製品の電源をOFFにして、1時間以上待ってからお使いください。
アクセスランプのいずれかが赤色点灯	ピー（約3秒鳴って停止）	点灯したランプのハードディスクに異常があります。ハードディスクを交換してください。交換しても解決しない場合は、ハードディスクが正しく接続されているか確認してください。
アクセスランプのいずれかが赤色点滅	―（ピッピッピッ）	リビルド（データ修復）中です。RAID1 モードでハードディスクを交換した場合にこの状態となります。アクセスランプが緑色点灯するまで（リビルドが完了するまで）電源を OFF にしないでください（リビルド完了時に、「ピッピッピッ」とブザーが鳴ります）。本製品内部でデータの移動を行っています。電源を OFF にすると、本製品が故障したり、データが破損・消失する恐れがあります。 リビルド中でもパソコンに接続して使用できますが、データ転送速度が遅くなります。 リビルド時間は、100GBあたり約45 分（HD-WL2TU3/R1の場合、約7時間 20 分）かかります（パソコンに接続していない状態での目安です）。
全てのアクセスランプが赤色点灯	ピー（約3秒鳴って停止）	本製品を認識できません。本製品を接続し、RAIDを構築してください。
アクセスランプが複数、または、いずれかが消灯	―	消灯しているランプのハードディスクが正しく接続されていません。接続を確認してください。

※アクセスランプは、ディスクアクセスに対応して緑色点滅します。RAIDメンテナンス機能実行中は、電源ランプが紫色点灯します。RAIDメンテナンス機能については、画面で見るマニュアル「RAID機能について」をご参照ください。

ハードディスクを交換される方へ

- ●ハードディスクの交換は、画面で見るマニュアル「RAID機能について」に記載の「ハードディスクの交換」の手順で行ってください。また、画面で見るマニュアルに記載されている注意を必ずお守りください。
- ●交換するハードディスクには、当社製HD-HFBS2/3Gシリーズ、HD-IDSシリーズ、HD-OPWLシリーズをお使いください。また、故障したハードディスクと同じ、またはそれ以上の容量のものを使用してください。

例：HD-WL2TU3/R1の場合、HD-ID1.0TS（1TB）をお使いください。

リビルド方法（RAID1モードのみ）

RAID1モードでお使いの場合、本製品に内蔵されたハードディスクが1台故障しても元の状態に復旧（リビルド）することができます。
元の状態に復旧するときは、以下の手順を行ってください。

注意

- ●ハードディスクの交換は、画面で見るマニュアル「RAID機能について」に記載の「ハードディスクの交換」の手順で行ってください。また、画面で見るマニュアルに記載されている注意を必ずお守りください。
- ●交換するハードディスクは、当社製HD-HFBS2/3Gシリーズ、HD-IDSシリーズ、HD-OPWLシリーズをお使いください。また、故障したハードディスクと同じまたはそれ以上の容量のものを使用してください。
- ●データの復旧には、100GBあたり約45分（HD-WL2TU3/R1の場合、約7時間20分）かかります。
- ●RAID0モード、スパニングモード、通常モードでお使いの場合はデータを復旧できません。
  RAID0モードやスパニングモードの場合、1台でもハードディスクが故障すると本製品に保存した全てのデータが読み出せなくなります。通常モードの場合は、故障したハードディスクのデータが読み出せなくなります。

❶ 本製品の電源をOFFにして、故障したハードディスクを交換します。

画面で見るマニュアル「RAID機能について」に記載の「ハードディスクの交換」を参照して交換してください。

❷ パソコンに接続し、本製品の電源をONにします。

アクセスランプが赤色に点滅し、リビルドが始まります。アクセスランプが緑色点灯するまでお待ちください。

以上で完了です。本製品は、元と同じ状態で使用できます。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には当社製品だけでなく、当社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、当社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制　本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止　本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止　AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制　電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止　電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、当社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制　電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

強制　小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止　濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く　煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコン及び周辺機器の電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止　風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く　本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止　USB ケーブルや eSATA ケーブルは、本製品付属のものまたは当社製のものをご使用ください。
本製品付属または弊社製以外の USB ケーブルや eSATA ケーブルをご使用になると、電圧の端子や極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

禁止　本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しています。筐体表面が熱くなりますが異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。
- 本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
- 本製品に布などをかぶせないでください。
- 本製品を積み重ねて使用しないでください。

⚠ 注意

禁止　ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータ格納機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源を OFF にしたり、リセットしたりしないでください。
データを消失、破損する恐れがあります。バックアップ作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

禁止　次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ
  →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
  →故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  →故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ
  →故障や感電の原因となります。

禁止　本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。

強制　本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータを MO ディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止　本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止　通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。
故障の原因となります。

禁止　アクセスランプが点滅している間は、AC アダプターや USB ケーブルを抜いたり、システムをリセットしたりしないでください。

強制　パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

禁止　ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチを OFF にした直後に、すぐに電源スイッチを ON にしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止　シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制　電源の ON/OFF は、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。
本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

強制　本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

付属ソフトウェアのサポートについて（Windows）

付属ソフトウェアについてのお問合せ先は画面で見るマニュアル「付属ソフトウェアの概要」（PDFファイル）をご覧ください。「付属ソフトウェアの概要」は本紙「画面で見るマニュアルについて」の手順で表示できます。

※ 株式会社バッファローではお問合せを承っていないソフトウェアもございます。あらかじめご了承ください。

「設定がうまくいかない」、「故障かな？」と思ったら

サポートセンターのご案内

本製品に関するお問合せはサポートセンターで受け付けています。

● お問合せの際は、まず、当社サポートページをご確認ください。
お客様からお寄せいただいたお問合せを元にした、ピックアップ Q&A やよくある質問をご紹介しております。機種や症状別に参照することも可能です。ぜひご覧ください。

PC ハローバッファロー **86886.jp**（http://www 不要）　［86886.jp］［検索］

● **インターネット（E メール）：** ※お問合せフォームからご質問いただけます。

個人のお客様　PC ハローバッファロー **86886.jp/mail/**（http://www 不要）

法人のお客様　PC ハローバッファロー **86886.jp/hojin/**（http://www 不要）

● **電話：** お問合せの際には、あらかじめ下記の項目をご確認ください。よりスムーズに回答することが可能です。1, ご使用の当社製品名　2, パソコンの型番　3,OS のバージョン　4, トラブルの内容をお知らせください。

受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。
詳細は当社ホームページ（86886.jp）をご覧ください。

個人のお客様窓口　050－3163－1825
9:30～19:00（日曜日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く）

法人のお客様窓口　050－3163－2000
9:30～12:00　13:00～17:00（土日祝日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く）

修理のご案内

万が一、製品が故障した場合は、下記のサイトより「インターネット修理予約システムで申込む」をご利用いただき、商品を当社修理センターまでご送付ください。事前に修理を予約いただくことで、修理期間の短縮や修理状況の確認を行うことが可能です。

PC ハローバッファロー **86886.jp/shuri/**（http://www 不要）

携帯電話で修理品の送付先を確認することができます。
右のバーコードを携帯電話で読み取ってください。

ユーザー登録のご案内・添付品の販売（備品販売窓口）

ユーザー登録　PC ハローバッファロー **86886.jp/user/**（http://www 不要）

ダウンロードの代行サービス（有料）　PC ハローバッファロー **86886.jp/bihin/**（http://www 不要）

AC アダプター、ケーブル、その他付属品
PC **http://www.buffalo-direct.com**　［バッファローダイレクト］［検索］

コミュニティサイト

●お客様サポートホームページ上において、パソコンや周辺機器の疑問・質問を書き込み、知っている人が答えて解決するコミュニティサイト『ZQwoonetSAK2（サクサク）』をご用意させていただいております。ぜひご利用ください。

PC **http://www.zqwoo.jp/sak?foo=bar**　［SAK2］［検索］

※We provide technical and customer support only to Japanese OS.
We provide technical and customer support only in Japanese language.
We provide technical and customer support only for use in Japan.

当社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

HD-WLU3/R1シリーズ　はじめにお読みください
2012年11月20日 2版発行　発行 株式会社バッファロー